

小田原清閑亭で小さい愛らしいお香(印香)づくりと 春日局ゆかりの紹太寺で普茶料理



清閑亭の2階からの眺め。海と山と町並み

◆清閑亭で印香づくりとお茶を楽しむ

清閑亭は、1906年(明治39年)に建てられた黒田長成侯爵の別邸です。眺めの良い小田原城三の丸外郭に土塁上に建てられており、晴れた日には母屋から真鶴半島や大島など相模湾、そして箱根山までを一望することができます。

数寄屋風のつくりの建物内も板絵すすまや網代組天井などすぐれた意匠があり、見逃せません。館内の案内のあとは、お抹茶と小田原の銘菓をゆったりと召し上げて往年をしのびましょう。



清閑亭でのせいたく体験

今回のワークショップは「印香」づくりです。「そろりと小田原」の関敦子さんの指導で、白檀や山奈などの天然香料をブレンドし練り込み、型抜きをします。色付けには合成染料を使わず赤シソや竹炭、お茶、ターメリックと、自然のもののみそやかな色合いも魅力です。日本建築の美を堪能しながらの手作業は非日常を感じていただけることでしょう。

(密を避けるため、見学・お茶と体験とを交互に行います)



関敦子さん



印香の天然の香りとははひそやか。

◆本格普茶料理でからだも心も癒される

ランチは長興山紹太寺の普茶料理です。紹太寺は小田原城主や春日局のお墓がある小田原屈指のお寺です。境内に点在する史跡を自由散策で巡って、住職自らが腕を振るう普茶料理をいただきます。普茶料理は中国から伝来した精進料理で、一般の精進料理と異なり、ごま油など植物油を多く使った濃厚な味が特徴です。名物ともなっている1万粒のごまを使ったごま豆腐は、多くのファンを魅了しています。丹念に作られた料理は見た目の美しさとともに、野菜本来の味を堪能できます。普茶料理は供するところが少なく貴重な体験になること請け合いです。なお、解散場所、小田原駅に昨年末誕生したミナカ小田原では展望足湯庭園(営業時間は18:00まで)が無料で楽しめます。



普茶料理(イメージ)



紹太寺。奥に森が広がっている。

印香の 使い方

火をつけて香を楽しむほか、そのまま玄関や寝室などに飾っておくだけでほのかな香りを感じることができます。プレゼントにも喜ばれますね。

| | | | |
|---|----------------------|------|----------------------|
| 旅行日 | 2022年1月27日(木)・29日(土) | | |
| 旅行代金 | (お一人様) 15,600円 | 募集人員 | 16名様 (最少催行人員10名様) |
| 10:00小田原駅集合～10:22箱根登山鉄道小田原駅発～10:32生田駅着 徒歩にて →紹太寺10:45～13:40散策・昼食→清閑亭14:00～16:00館内見学、お茶・お香 づくり体験→徒歩にて小田原駅→16:30頃小田原駅にて解散 | | | |
| ■添乗員/同行します ■食事/昼食1回 ■利用交通機関/箱根登山鉄道 ■集合時間/午前10時 ■集合場所/小田原駅(JR・小田原駅)小田急線 改札口目の前のロータリー ※スケジュールは天候状況、交通事情により日程の一部が変更される場合があります ※おおむね平坦な道ですが、お寺には300段を超える階段がございます。歩きなれたしっかりした靴での参加をお願いします。 ※昼食会場は椅子席。体験およびお茶会場はお座敷ですが、正座に不安のある方は小さな椅子のご用意があります。 | | | |